

平成29年3月10日

保護者 様

尼崎市立園田北小学校
校長 平野 真紀

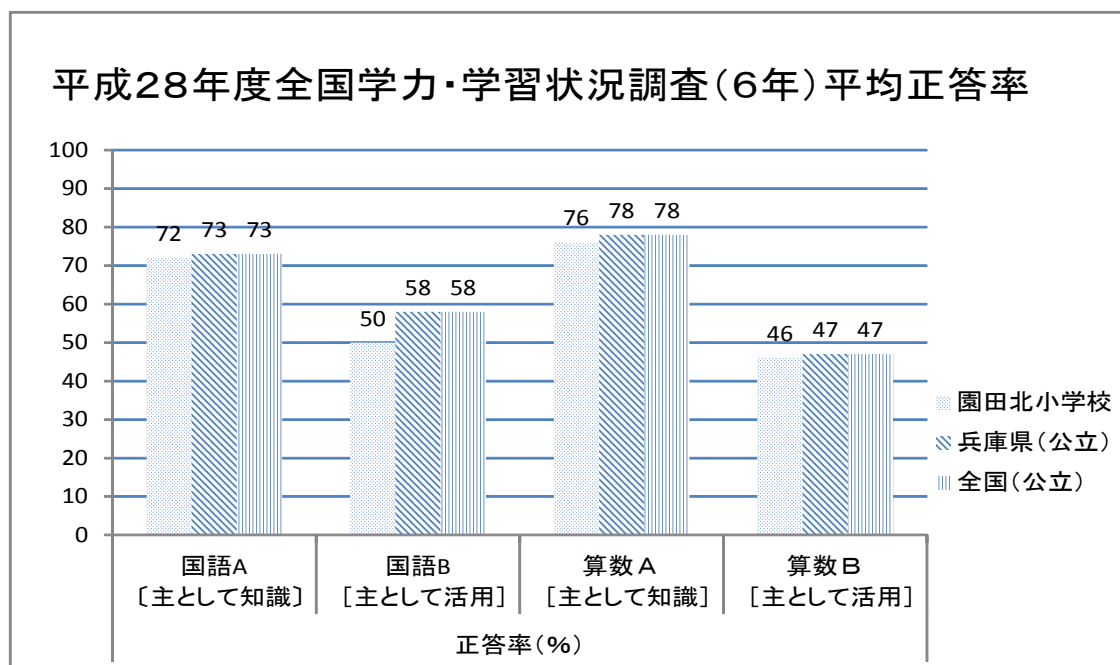
平成28年度「全国学力・学習状況調査」「尼崎市学習到達度調査」の概要について

平素は本校の教育活動の推進にご協力いただきありがとうございます。

さて、今年度実施しました「全国学力・学習状況調査（6年生対象）」と「尼崎市学習到達度調査（5年生対象）」について、その概要をお知らせいたします。

学校では既に授業改善の資料として活用しております。家庭での学習の充実に向けて参考にいただければありがたく存じます。

1 「全国学力・学習状況調査（6年）【国語・算数】」の概要（全国平均正答率との比較）



- 国語A（主として知識）では、全国比（－1％）下回っています。
- 国語B（主として活用）では、全国比（－8％）下回っています。
- 算数A（主として知識）では、全国比（－2％）下回っています。
- 算数B（主として活用）では、全国比（－1％）下回っています。

2 各教科の設問別の状況（全国平均正答率との比較）

(1) 全国平均正答率より 正答率が高かった問題

【国語A】

- ・漢字を書く ・登場人物の人物像について、複数の叙述を基にして捉える
- ・ローマ字を読む、書く

【国語B】

- ・グラフを基に、分かったことを的確に書く

【算数A】

- ・末尾の位のそろっていない小数の加法の計算をすることができる
- ・小数の除法の計算をすることができる
- ・単位量当たりの大きさの求め方を理解している

【算数B】

- ・単位量当たりの大きさを求めるために、ほかに必要な情報を判断し、特定することができる
- ・図形を構成する角の大きさを基に、四角形を並べてできる形を判断することができる

(2) 全国平均正答率より 正答率が低かった問題

【国語A】

- ・目的や意図に応じて、収集した情報を関係付けながら話し合う
- ・書き手の表現の仕方をよりよくするために助言する
- ・用紙全体との関係に注意し、文字の大きさや配列などを決める

【国語B】

- ・質問の意図を捉える
- ・目的や意図に応じて、表を基に、自分の考えを書く
- ・活動報告文において、課題を取り上げた効果を捉える
- ・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかく読む

【算数A】

- ・除数が1より小さいとき、商が被除数より大きくなることを理解している
- ・直方体における面と面の位置関係を理解している
- ・全体の大きさに対する部分の大きさを表す割合の意味について理解している

【算数B】

- ・示された条件を基にほかの正方形について検討し、同じきまりが成り立つかを調べることができる
- ・乗法や除法の式の意味を解釈することができる
- ・縦にかくことができる正方形の数を求め、24個の正方形をかくことができる理由を記述できる

3 「尼崎市学習到達度調査（5年）【国語・算数】」の概要

尼崎市内平均点との比較

教科	園田北小学校平均点	尼崎市内平均点	+-
国語	57	54	+3
算数	48	48	+0

4 「全国学力調査（6年）」「尼崎市学習到達度調査（5年）」から共通してわかること

- ・「全国学力調査」「尼崎市学習到達度調査」ともに昨年度より学力は向上している。特に5年生は国語・算数とも市内平均を上回っている。6年生も国語B問題以外はほぼ全国と同等レベルである。
- ・6年生の国語のB問題について課題が大きい。特に条件有りの記述式の問題の無答率（答えを書いていない率）が高い。条件有りの記述式の問題とは（例えば50字から70字で書きなさい。とか、適当な接続詞を使って、二文を一文につなげて書きなさい。等、回答に条件がつけられるような問題）
- ・問題の後半での無答率が高い。最後の問題まで解答する学力と意欲が必要とされます。

5 全国学力・学習状況調査（児童質問紙）【6年】から

○全国平均と比較して、園田北小の平均がよかったもの

番号	質問事項	園北小 (%)	全国 (%)
7	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意です	58	52
9	将来の夢や目標を持っています、93.1%（全国85.3）	93	85

○全国平均と比較して、園田北小の平均がよくなかったもの

番号	質問事項	園北小 (%)	全国 (%)
10	夜11時以降に寝る	40	14
11	ゲームやビデオの視聴時間が3時間以上の児童	51	33
23	家で予習する児童	23	43
30	話し合いで意見が分かれば調整しようとする	35	59
35	地域や社会の出来事に関心がある	44	71
71	算数の勉強が好き	33	66
74	算数の新しい問題に出会ったら解いてみたいと思う	49	76
76	算数で学習したことを普段の生活の中で活用できるか考える	40	67
80	算数の授業で問題の解き方が分かるようにノートに書いている	54	85

学習状況調査（児童質問紙）は、児童が学校や家庭での学習や生活の様子について、また、学習についての意識などを回答する調査です。全部で85の調査項目がありますが、紙面の都合で今回は全国との差が大きいものを掲載しています。

6 尼崎市生活実態調査（質問紙調査）【5年】から

○園田北小学校の結果がよかったもの

番号	質問事項	園北小 (%)	市内 (%)
1	あなたは学校が好きです	81	82
5	理科の授業は、よくわかる、だいたいわかる、と思っている	81	82
6	チャイムが鳴るとすぐに授業が始まる	86	87
16	出された宿題はきちんとする	88	93
20	朝食を食べる	95	95
35	家族の人は気持ちをわかってくれる	81	83
36	気持ちをわかってくれる友だちがいる	82	86
37	担任は気持ちをわかってくれる	83	82
38	学校生活に満足している	84	75

○園田北小学校の結果がよくなかったもの

番号	質問事項	園北小 (%)	市内 (%)
22	決まった時間に勉強する	44	56
23	学校の授業以外に勉強する（塾等を含む）30分未満の割合	48	36
40	何か始めたら最後までやり抜く方だ	50	72

○早寝・早起き・情報機器について

番号	質 問 事 項	園北小 (%)	市内 (%)
25	スマートフォン・携帯でメールやインターネットをする 30分未満割合	61	66
27	夜10時までに寝る	76	73
28	朝6時半ごろには起きる	48	52

生活実態調査（児童質問紙）は、児童が学校や家庭での学習や生活の様子について、また、学習についての意識などを回答する調査です。全部で42の調査項目がありますが、紙面の都合で今回は結果が比較的良好だったものとよくなかったものを掲載しています。

7 質問紙調査からわかること 【5, 6年】から

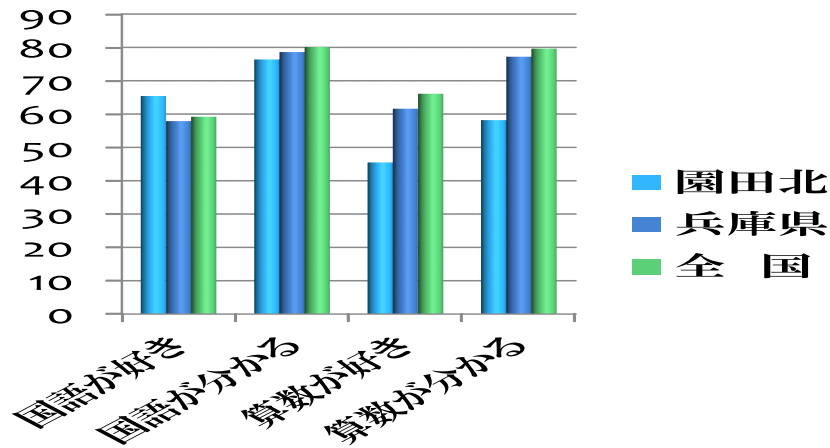
- ・学校に好意的であったり、学校生活に満足している児童が増えてきている。
- ・昨年度までであった算数や理科に対する苦手意識が年々減少してきている。
- ・6年生で就寝時刻が遅い傾向にある。5年生は就寝時刻は市内平均より早い、起床時刻はやや遅い。毎朝、朝食を食べてくる児童は増加改善傾向にある。
- ・6, 5年ともにテレビやゲーム・ビデオ等の利用時間が長い。30分程度の短時間でスマホやケータイでインターネットをしている児童もいる。
- ・家庭学習はほとんどの児童が宿題はしているが、それ以外の学習をする児童は少ない。家庭学習時間も30分未満の児童が半数いる。

8 おわりに

平成28年度の「全国学力・学習状況調査」（6年生が実施）と「尼崎市学習到達度調査」（5年生が実施）の結果をお知らせいたしました。この結果を校内で検討し、更なる学力向上に向けて取り組んで参ります。保護者の皆様にも各ご家庭でお子様の家庭学習や生活習慣の改善等にご協力いただきました。心よりお礼申し上げます。

今後ともご家庭でのご協力をよろしくお願いいたします。

5 全国学力・学習状況調査（児童質問紙）【6年】から



- 国語が好きは、全国比（+6.2%）上回っています。
- 国語は分かるは、全国比（-3.7%）下回っています。
- 算数が好きは、全国比（-20.6%）下まわっています。
- 算数は分かるは、全国比（-21.4%）下回っています。

- 3 -

- ・特に算数において、関心や理解に大きな課題があります。指導方法も含めて力を入れていかなければいけないと考えています。
- ・家庭での勉強の時間については、「3時間以上」という児童と、「全くしない」という児童が全国と比べて割合が高く、二極化の傾向が見受けられます。
- ・学校の宿題については、「している」という割合が全国と比べて若干低く、「全くしていない」という割合が若干高いですが、「している」及び「どちらかといえばしている」という割合は96.4%で、ほぼ全国の割合と同じです。

7 学力向上に向けての学校の取り組み

(1) 支援体制を充実する

今年度の学力・学習状況調査結果から見えてきた本校児童の優れたところをさらに伸ばすとともに、必要な児童には適切な指導、支援を行い、学力の充実を図ってまいります。

低・中学年には児童支援担当教員を中心に教科指導における複数指導や指導補助を行っています。加えて、今年度は教育経験豊富な学習指導補助員を活用し、中学年の児童の基礎学力の充実に努めました。高学年には、新学習システムの教員を配置し、算数の少人数指導や理科・社会・外国語活動などで教科担任制をとり、指導方法の工夫や改善を図りながら学力の充実に努めています。また、読書活動、外国語活動、計算科では、専門性の高い指導者による指導により、学習の充実を図っています。

(2) 学習意欲を高める

どの学年クラスでも、音読や漢字、計算ドリル・算数プリントなどを宿題に出し、学年の発達段階に応じた時間と内容で家庭学習の習慣化に取り組んでいます。宿題などを確実にさせることで基礎的な力がしっかりと身につくよう努めています。かなり定着し、学力向上に寄与していると考えられます。やればできるという意識と自信をもたせるとともに、コンピュータや大型ディスプレイや実物投影機などの ICT 機器活用を通して、学習についての興味や関心を高め、学習意欲の向上を図っています。

(3) 学力補充の機会を確保する

毎週木曜日を学力補充の日とし、中学年では放課後学習指導員を配置して、基礎学力の充実、家庭での学習習慣の形成にむけて指導に取り組んでいます。現在、3・4年生だけで51名の児童が登録しており、毎週木曜日の学習により一定の成果を上げています。

また、担任も朝の学習タイムでの漢字や計算などの演習による基礎学力の充実、及び、放課後等に「理解や定着が不十分なところ」を中心に指導に取り組んでいます。

「ユイ教室」でも毎日、基礎学力の充実と学習習慣の確立にむけて学習しています。

本校の児童の学力の充実に向けて来年度も教職員一体となって教育活動に取り組んでいきます。ご家庭でのご協力をよろしくお願いいたします。